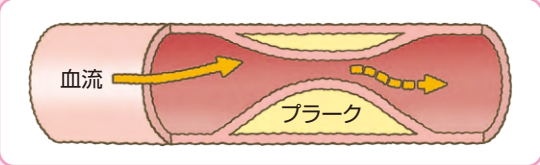
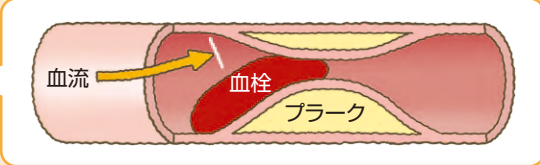





動脈硬化が進行すると… 虚血性心疾患編 ①

虚血性心疾患

冠動脈の血流が悪くなり、心筋へ必要な酸素の供給ができなくなって、発作を起こす病気です。

狭心症と心筋梗塞が代表的な病気で、主な原因は血管の内壁にコレステロールが蓄積するアテローム動脈硬化です。

狭心症	心筋梗塞
<p>血管が狭くなって血流が悪くなるために、一時的に心筋へ必要な酸素の供給ができなくなります。</p> <p>狭窄 ↓ 虚血</p> 	<p>血栓により血管が詰まり、血液が流れなくなるため、心筋に酸素が供給できなくなり、その部分の細胞が死んでしまいます(壊死)。</p> <p>閉塞 ↓ 壊死</p> 
<p>労作性狭心症 運動時などにより酸素消費量が増えたときに起こります。</p> 	<p>安静狭心症 寝ているときや安静時などに突然冠動脈がけいれんを起こして縮んでしまうために起こります。</p> 
<p>心筋梗塞発症後、6時間で壊死が完成するといわれており、壊死した部分は二度と再生することはありません。壊死により機能を失った心臓は、心不全、心原性ショック、不整脈などの病気を合併することもあり、命を落とす危険性が非常に高くなります。</p> 	



狭心症の発作を何度も起こしている人は心筋梗塞に移行する可能性が高いので注意が必要です。

心筋梗塞は命を落とすことにもなりかねない怖い病気のため、狭心症の段階で早期発見し、治療を始めることが大切です。